

第2回 ORTHOREBIRTH 学術研究会

ORTHOREBIRTH 沖縄研究所からクルマで小一時間のところに位置する名護市の某リゾートホテルの一室で行われた研究会には、バイオ研究と整形外科関連の5名の先生が参加しました。名古屋工業大学（以下、名工大）の副学長であり ReBOSSIS の生みの親とでも言うべき春日敏宏教授、人工骨を使用する整形外科医療分野における第一人者である田中孝昭医師、沖縄工業高等専門学校の生物資源工学科で教鞭を執る傍ら ReBOSSIS の技術を応用した抗がん剤研究に勤しむ池松真也副校長兼教授、名工大で春日教授の門下生として材料工学の研究に従事する小幡亜希子准教授、同じく水野稔久准教授というのが5名の顔ぶれです。

研究会は昼食をはさみ約6時間にわたって行われました。5名による講演はひじょうに興味深く、またそれぞれの講演で設けられた質疑応答は活気を運び、きわめて意義ある内容になりました。

なお、各先生の講演テーマは下記のとおりです。

- ・春日敏宏先生：「新しいコンセプトに基づく高機能生体材料の創製」
- ・田中孝昭先生：「基礎ならびに臨床研究からみた β -TCP 移植後の生物学的応答」
- ・池松真也先生：「神経芽腫モデルマウスを用いた新規ドラッグデリバリー素材の効果検討」
- ・小幡亜希子先生：「有機・無機ハイブリッド繊維の作製と物性評価」
- ・水野稔久先生：「生理活性を持った不織布の作製と機能評価」



春日先生



田中先生



池松先生



小幡先生



水野先生



親睦パーティーで挨拶される具志堅 清明・
沖縄科学技術振興センター専務理事兼所長。